令和5年度

尼崎の教職員を支援するために

令和５年度事業計画

令和４年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局
教育総合センター
学び支援課

令和5年度 『尼崎の教職員を支援するために』

令和５年度 事業計画

		ページ
１　教育総合センターの事業について	……	1
２　研修体系策定の方針	……	3
３　具体的な取組	……	4
４　研修をすすめるにあたって	……	5
５　研修体系図　　※別添参照　　Ｐ7	……	6
６　研修計画	……	8
７　文部科学省・県教委等の実施する主な研修一覧	……	14

令和４年度 事業報告

８ 令和４年度 研修報告	……	15
９ 令和４年度 研究部会の概要報告	……	21
10 令和４年度 学びの先進研究サポート事業　自主研究グループ一覧	……	23
11 令和４年度 教科書センター事業報告	……	24
12 令和４年度 教育情報の収集・整理事業報告	……	24

資料

欠席届（様式３）　学び支援課長　あて	……	25

１　教育総合センターの事業について

教育総合センターは、一人ひとりの子どもたちの「生きる力」を育てるために、教職員の資質や指導力向上を目的とした教職員研修や各種の研究、また、尼崎市版ＧＩＧＡスクール（AGS）の実現にむけて学校園を支援している。

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

＜運営方針＞

兵庫県は、令和元年度に教育の基本計画である第３期「ひょうご教育創造プラン」を策定し、その中で、「兵庫が育むこころ豊かで自立した人づくり」の基本理念に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成とともに、教職員の資質と実践的指導力の向上をめざしている。

また、本市においては、令和２年度に５年間の教育の方向性を定めた「尼崎市教育振興基本計画」を策定し、「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」を柱にした教育行政を進めている。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性を踏まえ、研修体系に基づく教職員研修、新たな教育課題に対する先進的な研究、学社連携推進事業、教育 ICT 環境の整備、AGS 実現に向けた先進的研究等を通して、教職員の資質や指導力の向上を支援する。

なお、教育総合センターの組織は、【学び支援課】【学校 ICT 推進課】の２課であり、それぞれが連携を図りながら事業を進めている。

＜教職員研修事業＞

（１）教職員研修

教員一人一人のキャリアプランを踏まえた幅広い研修体系に基づいた研修を実施する。経験年数や職務・職階に応じた基本研修、教科等の指導力向上をめざす専門研修、本市の教育課題に関する特別研修を実施する。

（２）学びの先進研究サポート事業

教員自らが探求力を持ち、学び続けることで実践的指導力を高めるために、教員による自主研究グループの活動を補助する。また、先進地域の学校園へ教員を派遣し指導力を向上させることを支援する。

（３）中核市法定研修

中核市として、県の定めた研修以外にも新規採用教員に対して、採用の日から１年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。また、中堅教員に対しては、個々の能力・適性やニーズに応じた選択研修を取り入れながら、ミドルリーダーとして、学校の中核を担う教員の指導力向上をめざす。

＜英語教育推進事業＞

コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修

４技能５領域をバランスよく高めるための指導の工夫を行い、コミュニケーション中心の授業を推進するための教員研修を実施する。

＜未来の学び研究事業＞

社会の変化に伴う新しい教育課題に対する先進的な研究を行い、教職員の指導力向上を図る。特に、AGS 実現に向け、ICT を活用した授業方法に関する先進的な研究を進めるとともに、教職員が様々な学習場面で ICT 機器を効果的に活用した学習活動ができるよう教員の指導体制と ICT 活用指導力の向上を図る。

（１）「ICT 活用推進部会」

全ての小・中学校が ICT 活用推進チームを編成するとともに、各校から１名以上参加する「ICT 活用推進部会」において、ICT を活用した授業方法等を学んだり、市内の学校間で取組を共有したりする。

（２）AGS リーディング・プロジェクト校

モデル校として指定された学校が、デジタル教科書やデジタル教材・アプリ等を活用する独自の取組を支援し、実証研究の結果を市内の学校に還元する。

（３）「探究的な学習研究部会」

小・中・高等学校の教員が参加し、探究的な学習の手法として、「変数」を取り入れた授業を実施し、校種間を越えた学びの展開を研究する。

＜教育情報収集・提供事業＞

教育活動に役立つ情報を収集・整理して教育関係職員に提供し、教職員の資質の向上に役立てる。また、広報活動を通して、保護者・教職員等への啓発を図る。

・「教育あまがさき」の発行（年２回）
・「教育総合センターだより」の発行（年４回）
・教育図書の閲覧、貸出し
・「教育情報コーナーからのお知らせ」の掲載（インターネットのＨＰ上で毎月）

＜調査研究・教材開発事業＞

当面する教育課題について実証的な研究を深めるための研究部会を設置し、教材開発を行うとともに、研究成果を市内に広め、本市教育の充実を図る。

（１）「体力向上研究部会」

幼稚園・小学校・中学校の教員が参加し、楽しく運動しながら体力向上につながるプログラム「リズムジャンプ」の研究を行う。

（２）「エビデンスに基づく教育実践研究部会」

市内の全小・中学校から推薦された教員が、「あまっ子ステップ・アップ調査」等の自校の結果を分析し学力向上の取組を検証するとともに、他校の取組の共有を図る。

＜児童生徒文化充実支援事業＞

児童生徒の個性や能力の伸長と学力の向上を図るため、小・中学校の教科等研究会の実践的な取組を支援する。

２　研修体系策定の方針

＜研修体系について＞

「尼崎市教育振興基本計画」の中の基本方針をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別臨時研修の４つに分類し実施する。

（１）　基本研修

①　教職年数に応じた研修

教職経験年数に応じた研修を実施する。１年目教員必修研修（初任者研修）では、中核市である利点を生かし、授業力向上や地域への愛着心を育成する実践等を重点化した内容の充実を図る。また、２年目、３年目も、１年目教員必修研修（初任者研修）を継続しグループでの授業実践研修を重ね、連続する３年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

②　職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、学校園の組織力向上を目的とした管理職研修を実施する。特に、危機管理研修を充実させる。

③　職務に応じた研修

中核となる教員の育成をねらいとし、人権教育、生徒指導、養護教諭、栄養教諭、ミドルリーダー、特別支援コーディネーター等を対象とした職務に応じた研修を充実させる。

（２）専門研修

①　教育課題等への対応研修

いじめ、不登校、特別支援教育、ICT 活用、就学前教育等の専門性を高める研修や、新しい教育課題の対応に資する研修を実施する。また、子どもの人権にかかる多様な課題の研修を通して教職員の人権意識の高揚を図る。

②　教科等の指導力向上をめざした研修

児童等の学びに向かう力や人間性の育成、学力向上等をめざし、各教科等における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。また、マイスター教員を含む指導教員を講師とし、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

（３）先進的研究・自主研修

常に学び続ける教員を育成するため、教員の自主的研究や先進的研究を支援する。また、教育活動に役立つ情報を収集・整理して、関係者に提供する。

（４）特別に実施する研修

年間計画として当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある研修を随時実施する。

３　具体的な取組

＜教職員の資質向上＞

教職員の資質向上をめざし、３つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教員

・校長や教頭などの職務・職階に対応した研修
・子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援・特別支援教育など）
・養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員などの職責を遂行するための研修
・人権問題について学ぶための研修

確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教員

・授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
・教科の指導力向上をめざした研修の充実
・ICT を活用した授業力の向上
・若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修、公開授業等）
・保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の交流や連携を図る研修

総合的な人間力

総合的な人間力を高め、時代の変化や教育課題に対応し、柔軟に指導できる教員

・学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修
・小学校、中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小中連携を図る研修の充実
・地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実

＜中核市として主体的に研修の充実を図る＞

中核市として、国や県の動向をみながら尼崎市にふさわしい研修を実施する。

（１）１年目教員必修研修（初任者研修）〔法定研修〕の充実

・授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付ける。
・初任者教員が本市での教育活動に情熱を注げるように、本市の地理・歴史・文化等について学び地域への愛着心を育成する。
・１年目に引き続き２年目、３年目においても、グループ等での授業実践研修を重ね、連続する３年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

（２）中堅教諭等資質向上研修〔法定研修〕の充実

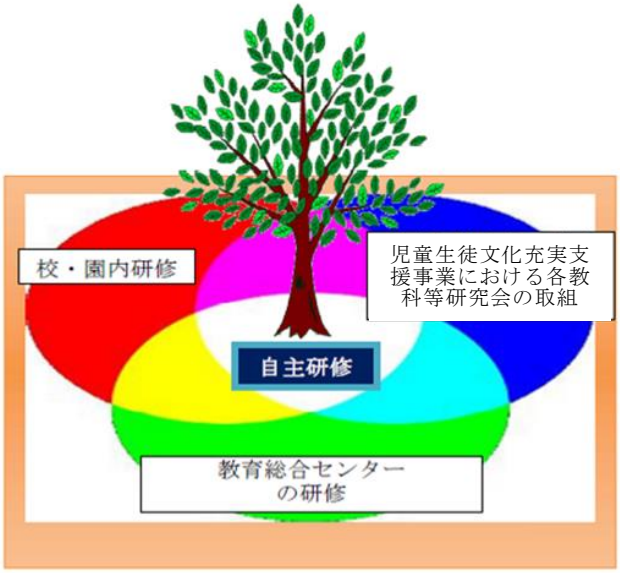
教科指導や生徒指導の研修から、より専門性と実践力を高めるとともに、本市の課題や将来について考える広い視点を持った中堅教員を育成する。

（３）県主催に加えて市独自に臨時的任用教員への研修を実施し、資質・指導力の向上を図る。

（４）高校教員の研修参加を促し、資質・指導力の向上を図る。

４　研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターが企画する研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営する研修等がある。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。そうして培われた豊かな地盤の上に教員自身の学ぶ姿勢が育っていく。その姿勢こそが自ら進んで学び続ける「自主研修」へと発展していくのである。



≪対話に基づく受講奨励≫

- 管理職は、資質向上指標や研修計画に基づき、教職員個人の職責・経験・適性に照らした人材育成、学校がめざす教育を進めるために必要な専門性・能力の確保等の観点から、当該職員の意向を踏まえながら、過去の研修履歴を活用した研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行う。
- 教職員は自らのニーズに加え、学校で果たすべき役割等、職能開発の視点を踏まえた目標設定を行う。

＜教育総合センターの研修と校・園内研修の連携＞

（１）　授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、教員の授業力向上等をめざす。

（２）　授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。また、指導主事による学校訪問等を通して授業づくりについて支援する。

（３）　研究部会や研究会の成果を、公開授業・研究発表会や研究紀要によって広く公開する。また、研究部員等を講師とした研究成果の交流や、ICT の活用授業の紹介等、研究成果の共有化を積極的に図っていく。

（４）　先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員の育成を図る。

＜教育総合センターの研修と自主研修の連携＞

（1） 教員自らが実践的指導力を高めるための自主研修は、教員の資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループや個々のニーズにあった支援の充実を図る。

（2） 教育情報コーナーにおいて、最新の書籍を含む教育情報、これまでに公開された授業の学習指導案、これまでの研究紀要、教育史に関する資料等を閲覧することができる。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後９時）まで開放している。さらに、AMA-NET のホームページより、教員が希望する書籍を申し込むことで、センターに足を運ばなくても書籍を借りることができるようシステムを構築している。

５ 研修体系図（略図） （別添参照）

教育総合センター（学び支援課）の研修

基本研修（受講しなければならない研修）

- 教職年数に応じた研修
- 職階に応じた研修
- 職務に応じた研修

専門研修（希望による研修）

- 教育課題等への対応研修
- 教科等の指導力向上をめざした研修

先進的研究・自主研修

特別臨時研修及び国や県が実施する研修

令和5年度 尼崎市教職員研修体系図

基本方針

「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」の実現をめざし、次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進する。

尼崎市が求める教員の素養

① あふれる情熱と責任感　②確かな授業力・指導力・専門性　③総合的な人間力

経験年数（年目）　1　2　3　4　5　10　15　20　25　30　35

キャリア段階

- **第1期**＜1～5年目＞ 実践的な指導力を伸ばす
- **第2期**＜6～20年目＞ 職務に応じて専門性を伸ばす
- **第3期**＜21年目～＞ より高い力を身につけ、後進の育成に生かす

基本研修

経験年数や職務・職階に応じて必要な資質・能力の向上を図る。 ※国や県が定める研修

教職年数に応じた研修

臨任教員研修 → ※初任者研修（法定研修） → ※3年次研修 ※2年次研修 → ※5年次相当研修 → ※中堅教諭等資質向上研修（法定研修） → ※15年次相当研修

教育公務員としての自覚を促し、いじめ、体罰、ハラスメント等に関する研修を継続して実施する

管外転入教員研修

職階に応じた研修

- 校・園長研修
- 新任校・園長研修
- 教頭研修
- 新任教頭研修

職務に応じた研修

- 人権教育担当者研修
- 生徒指導担当者研修
- ミドルリーダー研修
- 養護教諭研修
- 栄養教諭・学校栄養職員研修
- 教育用コンピュータシステム管理担当研修
- 特別支援教育コーディネーター研修
- 体罰等防止研修
- 学校事務職員研修
- 高等学校いじめ防止研修
- コンプライアンス研修
- コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修

専門研修

教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。

教育課題等への対応研修

- 教育課程に関する研修講座
- 幼児・児童・生徒に関する研修講座
- 一般教養に関する研修講座
- 教育の情報化に関する研修講座
- 人権に関する研修
- インクルーシブ教育に関する研修

教科等の指導力向上をめざした研修

- 各教科等の専門性を高める研修講座
- 各教科等のカリキュラム等に関する研修講座
- 実技・演習に関する研修講座
- 就学前・幼児教育に関する研修講座
- 小・中教科等研究会の研修
- 幼稚園教育研究会の研修

先進的研究・自主研修

常に学び続ける姿勢をもち、先進的な課題へ挑戦する。

先進的研究のための支援

教育情報システム

- ○あまネットシステム
- ○教育・研修資料等の情報提供
- ○指導案・ワークシート等のデータベースによる情報発信
- ○「教育あまがさき」「教育総合センターだより」の発刊

センター研究部会

- ◆エビデンスに基づく教育実践研究部会
- ◆ICT活用推進部会
- ◆探究的な学習研究部会
- ◆体力向上研究部会

自主研修のための支援

教育資料の収集・貸出

- ○教育総合センター情報資料室における教育資料の収集整理・情報提供・貸出
- ○「教育史資料室」の開架

学びの先進研究サポート事業

- ○自主研究グループの活動支援
- ○先進地域への短期派遣研修

指導教員制度

特別臨時研修及び国や県が実施する研修

- ・管理職研修（県）
- ・独立行政法人教職員支援機構研修（国）
- ・主幹教諭研修（県）
- ・兵庫教育大学大学院派遣（県）
- ・道徳教育実践研修（県）
- ・学級経営研究会（県）
- ・生徒指導担当教員等研修会（県）
- ・幼児教育連携促進推進研修会（県）
- ・キャリア教育担当教員実践研修（県）
- ・専科教員の指導力向上研修（県）
- ・人権教育研修会（県）
- ・防災教育研修会（県）
- ・特別支援教育担当者研修（県）
- ・情報教育研修会（県）
- ・学校・園のニーズに応えて実施する研修（市）
- ・他課と連携して実施する研修（市）
- ・初任者研修の一部（県）
- ・拠点校指導教員研修会（県）
- ・その他喫緊の課題（市）

キャリア段階を問わず実施する研修　等

６　研修計画

※研修内容は予定です。

１　受講しなければならない研修（基本研修）

（１）職階に応じた研修（職階別研修）

研修・講座名	実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
				責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
校長研修	未定	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題研修	○			○	小・中・高・特	校長
園長研修	未定		園経営課題研修	○			○	幼	園長
新任校・園長研修	未定	管理職としての職務（学校経営、管理運営、職員育成等）について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	○			○	全校種	新任校長 新任園長
教頭研修	未定	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題（教員の育成ＯＪＴ）	○			○	全校種	教頭
新任教頭研修	未定	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修	○			○	小・中・高・特	新任教頭

（２）職務に応じた研修（職務別研修）

研修・講座名	実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
				責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
人権教育担当者研修	未定	学校における人権教育を振り返るとともに、人権への感度を高め、指導力の向上を図る。	人権教育について			○	○	全校種	人権教育担当者
ミドルリーダー研修	未定	ミドルリーダーの資質・能力の向上を図り、学校運営に主体的に参画する人材を育成する。	これからのリーダーに求められること(シリーズ)	○		○	○	小・中・特	小・中・特 各校より選任
生徒指導担当者研修	未定	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	いじめ予防研修	○		○	○	小・中・高・特	生徒指導 担当者
養護教諭研修	未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の職務等に関する研修			○		全校種	養護教諭
栄養教諭研修　学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	栄養教諭の職務等に関する研修			○		全校種	栄養教諭 学校栄養職員
特別支援教育 コーディネーター研修	未定	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育の充実を図るための研修			○	○	全校種	特別支援教育 コーディネーター
学校事務職員研修	未定	学校事務の職務について理解を深めるとともに、疑問点を解決する。	学校事務職員の職務等に関する研修			○		全校種	学校事務職員
教育用コンピュータシステム 管理担当研修 ※情報セキュリティー研修講座を兼ねる	未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用			○		小・中・高・特	小・中・高・特支学校の教育用コンピュータ管理担当教員
体罰等防止研修	未定	学校・教育現場における体罰・非違行為等の防止に対する意識の改革、人権意識の醸成等を行い、指導力の向上を図る。	体罰・非違行為等の防止について			○	○	全校種	各校園より選任
高等学校いじめ防止研修	未定	教職員一人ひとりのいじめに対する感度を上げ、いじめの早期発見、対応等に向けた体制の強化につなげる。	いじめ認知、発達特性の理解とかかわり			○	○	高等学校	高等学校教職員
コンプライアンス研修	未定	教育公務員として遵守すべき法令理解、コンプライアンス意識の高揚を図る。	教職員のコンプライアンスについて	○		○		全校種	各校園より選任
コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修	未定	コミュニケーション重視の授業改善と授業力の向上を図る。	コミュニケーション重視の指導法について		○	○		中・高	英語科教員

（３）教職年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名		実施時期	目　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
					責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
臨時的任用教員等スキルアップ研修	第1回	5/19	教育公務員としての服務等基本的な事項を確認するとともに、本市の現状と重点取組について学ぶ機会を設け、教職員としての資質の向上を図る。	尼崎市の教育事情、子ども理解 授業と評価	○		○	○	小・中・特	小・中・特支学校の臨時的任用教員等
	第2回	9/15			○		○	○		
	選択必修	通年		教科等の研修講座を2つ選択して受講する	○		○	○		
１年目教員必修研修	第1回	5/16	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、新任教師としての心構え、接遇	○		○	○	小・中・特	幼・小・中・高・特支学校の初任者
	第2回	5/23		学級経営 授業づくりの基本	○	○		○		小・中学校の初任者
	第3回	6/13		あまよう特別支援学校訪問研修 インクルーシブ教育			○	○		小・中・特支学校の初任者
	第4回	6/27		道徳科の指導 評価、スズキ校務・情報モラル		○	○	○		小・中学校の初任者
	第5回	7/4		生徒指導（いじめ防止） ポジティブ行動支援			○	○		
	第6回	7/31		特別活動(クラブ指導含む) １～３年次授業実践研修		○	○	○		中・特支学校の初任者
		8/1		プログラミング教育について 国語科の指導						小・特支学校の初任者
	第7回	8/29		ゲートキーパー 教育相談・学校事故防止		○	○			小・中学校の初任者
	第8回	9/5		特別支援教育について 教科におけるICTの活用		○	○	○		
	第9回	9/12		ATTF2 アレルギー疾患への対応の基本 校外学習指導について			○	○		
	第10回	10/3		尼崎の地域・歴史散策	○		○			
	第11回	11/14		校外学習プランの交流 授業実践研修①		○	○			小・特支学校の初任者
		11/21		校外学習プランの交流 授業実践研修①						中・特支学校の初任者
	第12回	1/23		人権教育 ＬＧＢＴＱ			○	○		小・中学校の初任者
	第13回	1/30		他業種に学ぶ 外国語の指導	○		○			小学校の初任者
				他業種に学ぶ 授業実践研修②						中学校の初任者
	第14回	2/6		学び続ける教員となるために ２年次に向けて	○		○			小・中学校の初任者

研修・講座名	実施時期	目　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
				情熱・責任感	授業力	専門性	対応力		
２年次教員研修	5/31	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法を活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。	研修の概要、授業づくり グループ授業実践研修①		○	○	○	小・中	小・中学校の２年目教員
	未定		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ （公開授業）		○				
			教科等の研修講座を３つ選択して受講する		○				
			異なる校・園種との連携（TTによる授業及び実践等）		○				
異校園種交流研修 (幼稚園・特別支援学校・高校)	6月～2月				○			幼・特・高校	幼稚園・特支学校・高校の２年目教員
３年次教員研修	6/21	初任者研修、教職経験者（２年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上に資する。	ポジティブ行動支援 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①		○	○	○	小・中	小・中学校の３年目教員
	7月～2月		グループ授業実践研修② 公開授業、事後研究会等		○				
			グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会等		○				
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		○				
５年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	インクルーシブ教育研修講座（半日分）を必ず受講し、希望による研修講座から半日分を選択して受講する		○	○	○	小・中・特	小・中・特支学校の５年目教員及び希望対象者
中堅教諭等資質向上研修	5/10	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質向上に資する。	共通研修Ⅰ 「キャリアデザイン」	○		○	○	小・中・特	小・中・特支学校の10年経験者(11年目)
	7/21		共通研修Ⅱ 「教育課題」		○	○	○		
	8/30		共通研修Ⅲ 「生徒指導」	○		○	○		
	12/5		共通研修Ⅳ 「教科指導」		○	○	○		
	5月～2月		選択研修 任意の研修を選択		○	○			
１５年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から１日分（半日２回分）を選択して受講する		○	○	○	小・中・特	小・中・特支学校の１５年目教員及び希望対象者
管外転入教員研修	未定	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	○		○		小・中・高・特	管外転入教員

２　希望による研修（専門研修）

（１）教育課題等への対応研修

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
					責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
人権教育研修講座		未定	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	いじめ等、子どもを取り巻く様々な人権問題			○	○	全校種	全教職員
一般教養研修講座		未定	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	一般教養やシティズンシップ向上等、視野を広げる内容について			○		全校種	
学校飼育動物研修講座		未定	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点			○		幼・小・特	
情報セキュリティー研修講座 ※教育用コンピュータシステム管理担当研修を兼ねる		未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用			○		小・中・高・特	
ICT活用研修講座		未定	ICTを効果的に活用する授業方法について学ぶ。	ICT機器を利用した授業づくり		○	○		小・中・高・特	
プログラミング教育研修講座		未定	小学校プログラミング教育の基礎的な知識・スキルの習得。	小学校プログラミング教育　入門編		○	○		小・中・特	
食育研修講座 ※栄養教諭研修　学校栄養職員研修を兼ねる		未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	成長期の食について			○		全校種	
就学前教育研修		未定	小学校就学前の教育について知り、指導力を高める。	就学前教育について			○	○	幼・保・小	就学前教育に携わる幼稚園・保育園・保育所等の教職員および小学校教員
子ども理解のための研修講座	1	未定	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	教育的支援を要する子どもたちの教育方法について			○	○	全校種	全教職員
	2	未定	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について理解を深める。	不登校を防ぐための人間関係づくりを大切にしたクラス経営			○	○		
インクルーシブ教育研修講座 ※5年次相当研修を兼ねる		未定	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	インクルーシブ教育について		○	○		全校種	

（２）教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
					情熱・責任感	授業力	専門性	対応力		
授業力向上研修講座		未定	主体的・対話的で深い学びや、指導の個別化、学びの個性化等、今求められている授業づくりについて考える。	授業デザイン		○			小・中・高	全教職員
道徳教育研修講座		未定	「特別の教科　道徳」の授業づくりや指導方法について研修し、指導力向上を図る。	道徳授業実践研修		○			全校種	
国語科教育研修講座		未定	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		○			全校種	
図書館教育研修講座		未定	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		○			全校種	
社会科教育研修講座		未定	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	授業実践交流等		○			全校種	
算数科教育研修講座		未定	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	（小学校向け）算数授業の創り方		○			全校種	
数学科教育研修講座		未定	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	（中学校向け）「主体的に学習に取り組む態度」を評価する手立てを考える		○			全校種	
理科教育研修講座		未定	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	実験や観察で気をつけたいこと		○			全校種	
幼保小接続カリキュラム研修講座		未定	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め、保育・授業実践における指導の充実を図る。	幼・保・小連携		○			全校種	
幼児教育研修講座	1	未定	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	特別支援教育の視点に立った幼児教育		○			全校種	
	2	未定		絵画実技指導		○				
	3	未定		音楽実技指導		○				
音楽科教育研修講座		未定	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		○			全校種	
図工・美術科教育研修講座		未定	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動等について研修し、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを生む授業について		○			全校種	
体育科教育研修講座		未定	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを生む体育授業について		○			全校種	
外国語・英語科教育研修講座		未定	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、児童・生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを生む授業について		○			全校種	
特別活動（学校経営）研修講座		未定	特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	特別活動、学級経営のあり方について		○			全校種	
技術科教育研修講座		未定	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		○			全校種	
家庭科教育研修講座		未定	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		○			全校種	
教育総合センター研究発表会		未定	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究部会による研究成果の発表等		○			全校種	

３ 研究部会

研修・講座名	実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質				対象校種	対象者
				責任感・情熱	授業力	専門性	対応力		
エビデンスに基づく教育実践研究部会	通年	平成３０年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を分析するとともに、学力向上のPDCAサイクルの一部としてどのように活用できるのかを実践的に研究し、各学校における学力向上の取組の改善を図る。	・各学校の担当者が、「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を多様な観点から分析し、それを踏まえた自校の学力向上の取組について研究し、学校間で有効な取組の共有を図る。	○		○		小・中	小・中学校各校より選任
ICT活用推進部会	通年	児童生徒１人１台のPCを活用した先進的な事例を学んだり、市内の学校間で取組を共有したりすることで、多くの教員が効果的にICTを活用し、「指導の個別化」や「学習の個性化」の授業スキルを身につけられるように推進していく。	・全ての教職員がICTを活用する中で、「授業改善の質的改善」及び「基礎学力の向上」を図る方法について、市内で交流・共有を図る。		○	○		小・中・特	小・中・特支学校各校より選任
探究的な学習研究部会	通年	本部会では、授業内に「変数」を取り入れ、児童・生徒の思考にゆだねる時間を作りだすことで学習指導要領前文に記載された「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができる」ような資質・能力の向上をめざす。	・探究的に学ぶ授業方法を研究するとともに、教科横断的な視点で授業を行う点についても研究する。		○		○	小・中・高	小・中・高等学校より選任
体力向上研究部会	未定	運動意欲と体力の向上に向け、授業でのウォーミングアップ時に取り組むことが可能なプログラム「リズムジャンプ」についての研究を行う。また、幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上をめざす。	・運動意欲の向上や体力向上につながる授業方法や指導方法等について研修する。		○	○		幼・小・中	幼・小・中学校より選任

７　文部科学省・県教委等の実施する主な研修一覧

主　催	研修名・講座名	対象
・文部科学省 ・NITS（独立行政法人教職員支援機構研修）	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立特別支援教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中・特の新任特別支援学級担当教員
	通級担当教員等研修	小・中・高・特別支援学校教員 等
	リーダー研修	小・中・高・特別支援学校教職員 等
	選択研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
県立教育研修所	高等学校初任者研修	令和５（２０２３）年度採用高等学校教員
	高校教員２年次研修講座	令和４（２０２２）年度採用高等学校教員
	高校教員３年次研修講座	令和３（２０２１）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成２５（２０１３）年度採用高等学校教員
	選択研修	小・中・高・特別支援学校教員 等
県教育委員会	学校管理職・教育行政職特別研修	令和５（２０２３）年度採用小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	学校経営（小・中・特別支援学校）研修講座	令和５（２０２３）年採用小・中・特別支援学校校長
	県立学校新任校長学校経営研修講座	令和５（２０２３）年度採用高等学校長
	幼稚園等新規採用教員研修	令和５（２０２３）年度採用幼稚園教員
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	平成２５（２０１３）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用１０年次）	平成２６年（２０１４）年度採用 小・中・特別支援学校の１０年目養護教諭・栄養教諭
	新任主幹教諭研修会	令和５（２０２３）年度登用市町立学校の主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員及び任用候補者研修会	臨時講師及び任期付教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員

８　令和４年度　研修報告

１　受講しなければならない研修（基本研修）

（１）職階に応じた研修（職階別研修）

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
校長研修	11	7	月	講話	「危機管理と校長の心得～平成の校長から令和の校長へ～」	神戸親和女子大学　教授	竹内　弘明	62
	1	20	金	講話 演習	「スクールセクハラを防止するために～スクールセクハラの現状と根絶～」	SSHP全国ネットーワーク　代表	亀井　明子	62
園長研修	8	22	月	講話	「体験は、教えられない！！子どもが育つところ、ふじようちえん」	学校法人みんなのひろば　理事長	加藤　積一	9
新任教頭研修	7	6	水	講話	「教頭の実務とICT」 「生徒指導事案に係る初期対応等について」 校種別研修「教頭のお仕事」	学校ICT推進課 いじめ防止生徒指導担当　係長 学び支援課　課長 学び支援課	山下　陽一 川西　勝 大森　康充 中　俊弘	15

（２）職務に応じた研修（職務別研修）

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
ミドルリーダー研修	6	16	木	講話	「教職員の力を引き出すリーダーシップの在り方」	株式会社　Meta-Design-Development	福住　昌子	75
	10	7	金	講話 演習	「ミドルリーダーの在り方」	尼崎市立難波小学校　教頭	森井　崇	75
	1	26	木	講話 演習	「これからのミドルリーダーの役割 ～若者を育て、自分も育てる～」	兵庫教育大学大学院　特任教授	浅野　良一	75
教務担当者研修	9	15	木	講話	「カリキュラム・マネジメント実現のための校内研修の工夫」	甲南女子大学　教授	村川　雅弘	64
研究担当者研修	8	3	水	講話	「得する研究授業のやり方、見方大公開！」	教師塾あまから　代表	森川　正樹	59
生徒指導担当者研修	12	15	木	講話	「子どもたちが主体的に関わる学校をつくる『みんなのルールメイキング』の取り組み」	認定ＮＰＯ法人カタリバ みんなのルールメイキング事務局	山本　晃史 起塚　拓志	60
養護教諭研修	7	7	木	講話	「～脱衣の問題から考える～内科検診を性教育の機会に」 「性教育のこれまでとこれから ～生命（いのち）の安全教育スタートに向けて大人が準備しておくべきこと～」	NPO法人性暴力被害者センター・ひょうご代表 尼崎市医師会長・杉原小児科内科医院院長 尼崎市立水堂小学校　教諭 埼玉医科大学　助教	田口　奈緒 杉原　加寿子 吉岡　有可 髙橋　幸子	69
栄養教諭研修 ※食育研修講座も兼ねる	1	16	月	講話	「食とＳＤＧｓ」	武庫川女子大学短期大学部　准教授	藤本　勇二	42
特別支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修	7	29	金	講話	「気になる子どもの理解と支援 ～特別支援コーディネーターの役割～」	くらしき作陽大学　教授	橋本　正巳	67
体罰防止研修	6	28	火	講話 演習	「体罰防止マネジメント研修」	株式会社　Meta-Design-Development	櫻井　直子	72
	12	13	火	講話 演習	「体罰防止マネジメント研修」	株式会社　Meta-Design-Development	櫻井　直子	72
	8	2	火	講話 演習	「体罰防止指導方法研修」	株式会社　Meta-Design-Development	福住　昌子	42
	11	30	水	講話 演習	オンライン講演「体罰の根絶に向けて」 「体罰防止指導方法研修」	追手門大学　准教授 株式会社　Meta-Design-Development	巽　樹理 福住　昌子	35
	6	22	水	講話 演習	「体罰防止アンガーマネージメント・ストレスコントロール研修」	株式会社　Meta-Design-Development	鷲本　晴香	76
	11	30	水	講話 演習	オンライン講演「体罰の根絶に向けて」 「体罰防止とアンガーマネジメント 自分のため、相手のための怒りのコントロール」	追手門大学　准教授 株式会社　Meta-Design-Development	巽　樹理 鷲本　晴香	75
高校いじめ防止研修	6	30	木	講話	「高等学校におけるいじめ事案の問題点について」	あおぞら法律事務所　弁護士	菊田　大介	33
	10 11 12	21 2 14	金 水 水	講話	「発達特性の理解と関わりについて」	兵庫県立尼崎総合医療センター　小児科医長	石原　剛広	150
人権教育担当者研修	11	10	木	講話	「人権教育　これまでとこれから」	Facilitator's　LABO　（えふらぼ） 尼崎市人権文化いきづくまちづくり審議会委員	栗本　敦子	72
教育用ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｼｽﾃﾑ管理担当者研修	5	18	水	講話	「教育コンピュータシステムの管理と運用」	学校ICT推進課　係長	山下　崇	63

（３）経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・研修講座名	実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
臨時的任用教員等資質向上研修	5	19	木	講話	「尼崎市の教育」「明日から使える授業スキル」	尼崎市立教育総合センター　所長 学校教育課　首席指導主事	北垣　裕之 堀　克之	38
	7	29	金	講話	「本質にせまる授業づくり」	学校教育課　指導主事 学校教育課　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	川脇　いずみ 兼子　将 中村　匡孝	45
	11	24	木	講話	「小学校・中学校における生徒指導の現状」	尼崎市立立花北小学校　校長	佐久間　直紀	37
１年目教員必修研修	5	17	火	講話	「教職員としての心構え・服務について」「尼崎の教育について」 「プロの教師のスキルとは」 「学級づくり・授業づくり」 「教職員としての接遇について」 「研修の概要について」	学び支援課　課長 学校教育課　首席指導主事 学校教育課　首席指導主事 ＨＹ教育エンタープライズ　代表 学び支援課　研修担当　指導主事	大森　康充 堀　克之 平山　直樹 橋場　由見子 吉向　良太	57
	5	24	火	講話	「あーよかったな　先生になって ～『つながりと感動』そして『笑顔』～」 「子どもたちの命を守るために ー学校事故及びアレルギー疾患への対応についてー」 「学校における食物アレルギー疾患対応」	教育サポーター兼元気塾PLUS　代表 保健体育課　指導主事 学校給食課　技師	仲島　正教 堂前　真依子 中庭　幸惠	44
	6	14	火	講話	「あまよう特別支援学校の教育について」 「インクルーシブ教育の視点に立った児童生徒支援」 「困っている子によりそう特別支援教育について」	あまよう特別支援学校　校長 特別支援教育担当　指導主事 あまよう特別支援学校　専任コーディネーター	小寺　英樹 木徳　恭平 髙木　裕美	45
	6	28	火	講話	「子どもの『やった！』『できた！』を増やすポジティブ行動支援」 「シチズンシップ向上プログラムATTFⅡについて」	大阪教育大学　大学院連合教職実践研究科准教授 生涯、学習！推進課	庭山　和貴 矢倉　久仁香	44
	7	5	火	講話	「評価について」 「『特別の教科　道徳』の指導」	学校教育課　指導主事 学校教育課　指導主事 四天王寺大学　教授	泉　知恵 兼子　将 杉中　康平	44
	8	1	月	講話	「特別活動(クラブ活動を含む)について」 1～3年次教科グループ授業実践	尼崎市立中央中学校拠点校指導教員(元園田中学校校長) 学校ITC推進課　指導主事 尼崎市立立花中学校　教諭 尼崎市立小園中学校　教頭 尼崎市立成良中学校　教諭 尼崎市立立花中学校　教諭 尼崎市立大庄中学校　教諭 学校教育課　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事 保健体育課　指導主事 学び支援課　研修担当　係長	藤山　亨 雨宮　久仁 山口　慎二 田中　かおり 小崎　典子 松本　拓也 里村　典子 兼子　将 中村　匡孝 山口　和孝 西谷　里美	13
	8	2	火	講話	「今日の授業が未来の教育を創る」 ーあなただけの国語の授業レシピー 「小学校プログラミング教育超入門」 ～誰でも最初は初心者だ！～	大阪大谷大学　教授 兵庫教育大学附属小学校　教諭	今宮　信吾 林　孝茂	32
	8	30	火	講話	「生徒指導について」 「教育相談について」	いじめ防止生徒指導担当　指導主事 こども教育支援課　指導主事	佐野　竜也 津田　遼	44
	9	6	火	講話 (Zoom)	「LGBTQ～共に生きる社会を目指して～」 「ゲートキーパー入門講座 ～子どものSOSをキャッチする～」	尼崎市立水堂小学校　養護教諭 NPO法人ｹﾞｰﾄｷｰﾊﾟｰ支援センター　理事長	吉岡　有可 竹内　志津香	44
	9	13	火	講話	「教科等の指導におけるＩＣＴの活用」 「校外プランの作成について」	学校ＩＣＴ推進課 学び支援課　研修担当　指導主事	米田　浩 吉向　良太	44
	10	4	火	講話 見学	「尼崎の歴史」 尼崎城見学及び周辺散策（校外学習プラン作成における情報収集）	尼崎市立歴史博物館　係長	桃谷　和則	44
	11 11	8 15	火	演習	「授業実践交流　～校外学習プランの交流～」 「授業実践研修」	学び支援課　研修担当　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事 学校ICT推進課　指導主事 学校教育課　指導主事 保健体育課　指導主事 尼崎市立立花中学校　教諭 尼崎市立成良中学校　教諭 尼崎市立立花中学校　教諭	吉向　良太 中村　匡孝 雨宮　久仁 兼子　将 山口　和孝 山口　慎二 小崎　典子 松本　拓也	45
	1	24	火	講話	「人権教育について」 「魅力ある授業づくり」	学校教育課　指導主事 学び支援課　課長	堀　祐輔 大森　康充	43
	1	31	火	講話 演習	「他業種に学ぶ」 (小学校)「外国語・外国語活動の指導」 (中学校)「授業実践研修」	株式会社ふたごじてんしゃ　代表取締役 尼崎市立園田東小学校　主幹教諭 学び支援課　学校運営アドバイザー 学校教育課　主席指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	中原　美智子 手嶋　浩之 中　俊弘 平山　直樹 中村　匡孝	43
	2	7	火	講話	「校務支援ソフトの活用・情報モラル教育について」 「学習者理解・学習指導のための教育評価」	学び支援課　調査・研究担当　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事 大阪教育大学大学院　准教授	水本　美穂 吉向　良太 寺嶋　浩介	43

研修・研修講座名	実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
２年次教員研修	5	25	水	講話	「子どもの『やった!』『できた!』を増やすポジティブ行動支援-問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには-」 「２年次教員研修の概要について」 グループ授業実践研修	大阪教育大学　大学院連合教職実践研究科 准教授 学び支援課　研修担当　指導主事	庭山　和貴 林　玄典	51
	8	1	月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	18
	7 8 8 8	28 2 8 23	木 火 月 火	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	32
	10 10 10 11 11	7 13 31 2 29	金 木 月 水 火	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	32
	11 11	8 15	火	演習	教科グループ授業実践研修(公開授業、事後研究)	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	17
異校園種交流研修 (特別支援学校・高校)	通年			講話	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		54
３年次教員研修	6	15	水	講話	「子どもの「できた!」「やった!」を増やすポジティブ行動支援-問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには-」 「３年次教員研修の概要について」 グループ授業実践研修	大阪教育大学　大学院連合教職実践研究科 准教授 学び支援課　研修担当　指導主事	庭山　和貴 吉向　良太	37
	8	1	月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	9
	9 9 9 10 11	15 22 29 13 29	木 木 木 木 火	演習	授業力向上研修授業実践交流	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	28
	11 11 1 2 2	16 17 23 2 9	水 木 月 木 木	演習	授業力向上研修授業実践交流	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	28
	11 11	8 15	火	演習	教科グループ授業実践研修(公開授業、事後研究)	学び支援課　研修担当　指導主事	吉向　良太	9
５年次相当教員研修	通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加		69
中堅教諭等資質向上研修	5	11	水	講話	「モヤモヤを話そう」 「令和4年度　中堅教諭等資質向上研修の概要」	株式会社　地域環境計画研究所　代表 学び支援課　研修担当　指導主事	若狭　健作 中村　匡孝	75
	7	21	木	講話	「小学校・中学校における生徒指導の現状」	尼崎市立立花北小学校　校長	佐久間　直紀	74
	8	31	水	講話	「生徒・児童の気づきと学びの最大化－GIGAスクールから探求・STEAM－」	日本アクティブ・ラーニング学会　会長	米田　謙三	74
	12	6	火	講話 演習	「授業」	学び支援課　課長 学び支援課　研修担当　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事 学び支援課　調査・研究担当　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	大森　康充 吉向　良太 林　玄典 水本　美穂 中村　匡孝	74
１５年次相当教員研修				講話	ミドルリーダーとしての資質向上　（今日的な教育課題等）	各自研修に参加		74
管外転入教員等研修	7	12	火	講話	「本市教員に望むこと」	尼崎市立教育総合センター　所長	北垣　裕之	22

２　希望による研修（専門研修）

（１）教育課題等への対応研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
人権教育研修講座	10	6	木	講話	「尼崎市外国籍住民の現状 ～外国人相談窓口の現場から～」 「ＪＳＬ児童生徒への日本語支援について」	ダイバーシティ推進課 大阪ＹＭＣＡ日本語学校　非常勤講師	伊藤　謙介 水井　直光	36
	8	22	月	講話	「LGBTQ　共に生きる社会を目指して」	中央中学校　教諭 水堂小学校　主幹教諭・養護教諭	大田　裕己 吉岡　有可	59
	7	29	金	講話	「子どもの権利を基盤とする学校づくり」	国連NGO子どもの権利条約総合研究所　研究員	吉永　省三	36
	8	18	木	講話 (Zoom・集合)	「ヤングケアラーの現状と課題 ～学校と福祉の連携を考える～」	大阪歯科大学　教授	濱島　淑惠	89
食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる	1	16	月	講話	「食とＳＤＧｓ」	武庫川女子大学短期大学部　准教授	藤本　勇二	4
子ども理解のための研修講座	8	3	水	講話	「思春期の身体の不調　～起立性調節障害～」	えがおのこどもしもたけクリニック　院長	下竹　敦哉	72
	8	10	水	講話	「ゲートキーパー入門講座～子どものSOSをキャッチする～」	NPO法人　ゲートキーパー支援センター 理事長	竹内　志津香	50
一般教養研修講座	7	25	月	落語 曲芸 講話	「あなたのまわりの発達障害～ともにイキイキ生きるには～」	道心時　住職　・　落語家 太神楽曲芸師	露の団姫 豊来家大治朗	48
学校飼育動物研修講座	6	17	金	講話	「学校飼育動物の意義と目的、最適な飼育環境について」 「動物アレルギーの基礎知識などについて」 「ウサギ等の取り扱いについて」	一般社団法人尼崎市開業獣医師会　会長 尼崎市開業獣医師会　副会長 学校飼育動物委員会　委員長 学校飼育動物委員会　副委員長	大松　健 石川　智也 村上　義久 喜多村　幸紀	8
情報ﾓﾗﾙ･ｾｷｭﾘﾃｨ研修講座	12	7	水	講話	「複雑化するネットいじめ」	華頂短期大学　准教授	堀出　雅人	11
プログラミング教育研修講座	8	5	金	講話 演習	「ゼロからはじめる小学校プログラミング教育 ーコンピュータで問題解決に挑戦しようー」	兵庫教育大学附属小学校　教諭	林　孝茂	22
就学前教育研修	7	28	木	講話 実技指導	「子どもは”あそび”の中から気づく事が一杯！ 大いに楽しく遊びましょう‼」	みんなげんきジム　代表 大阪芸術大学短期大学部　特任教授 みんなげんきジム　音楽指導部長	米田　和正 山田　美紀子 源　悦子	54
インクルーシブ教育研修講座	8	8	月	講話 (Zoom・集合)	「通常の学級における、発達特性を抱える子どもの支援について」	愛媛大学　名誉教授	花熊　暁	95
ＩＣＴ活用研修講座	8	18	木	講話	「生徒・児童の気づきと学びの最大化ーGIGAスクールから探求・STEAMー」	日本アクティブ・ラーニング学会　会長	米田　謙三	40
学級集団づくり研修講座 （学級経営）	5	30	月	講話 (Zoom)	「教育×笑い＝∞　笑って学ぶ楽しい学校」	大阪成蹊大学　准教授	福岡　亮治	37

（２） 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
授業力向上研修講座	8	4	木	講話 演習	「授業デザイン」	学校教育課　指導主事 学校教育課　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	兼子　将 川脇　いずみ 中村　匡孝	56
国語科教育研修講座	7	21	木	講話	「多層指導モデルMIMを用いた『読みの学習』」	西東京市立住吉小学校　主任教諭	栗原　光世	57
	7	27	水	講話	「主体的・対話的で深い学びをつくる授業づくり(説明的な文章編)」	明星大学　教授	白石　範孝	58
	7	27	水	講話	「主体的・対話的で深い学びをつくる授業づくり(文学的な文章編)」	明星大学　教授	白石　範孝	65
	8	3	水	講話	「確かな言葉の力を育む国語授業づくり」	桃山学院教育大学　教授	二瓶　弘行	64
国語科教育(書教育)研修講座	10	27	木	公開授業 講話	4年　毛筆「友」　確かな力を育む書写授業	潮小学校　教諭 神戸女子短期大学　教授	南島　伸子 山内　有香子	15
社会科教育研修講座	8	2	火	講話 演習	「授業実践を持ち寄ってポットラックパーティー」	尼崎市立尼崎高等学校　教諭	尾之内　潤	32
	11	29	火	講話	「尼崎市立歴史博物館について ～主体的な学びにおける活用の観点から～」	尼崎市立歴史博物館　文化財担当係長 尼崎市立歴史博物館　史料担当係長	桃谷　和則 河野　未央	22
算数科教育研修講座	8	4	木	講話 (Zoom)	「子どもが動き出す算数授業&学級経営」	全国算数授業研究会　常任理事 関西大学初等部　教諭	尾崎　正彦	61
数学科教育研修講座	8	4	木	講話	「『個別最適な学び』の実現に向けて評価の在り方を考える」	姫路大学　准教授	榎並　雅之	9
理科教育研修講座	8	5	金	講話	「自然を観る目を広げる理科の本質的な学びを ー自然と自然のきまりの学びが子どもの目を輝かせるー」	奈良教育大学附属小学校　前副校長	井上　龍一	47
図工・美術科教育研修講座	6	30	木	講話 演習	「子供の姿から考える図画工作科・美術科の指導」	東京家政大学　教授	岡田　京子	42
体育科教育研修講座	7	22	金	講話 演習	「リズムを使った体育指導～バレーボール編～」	一般社団法人　スポーツリズムトレーニング協会　代表理事	津田　幸保	27
技術科教育研修講座	8	8	月	講話 演習	「内容D.『情報に関する技術』における実践の方向性」	兵庫教育大学大学院　教授	森山　潤	12
外国語・英語科教育研修講座（１）	7	26	火	講話	「外国語教育の現状とその在り方について 『外国語指導者養成中央研修』より」	尼崎市立武庫南小学校　教諭	宮武　夏貴	20
外国語・英語科教育研修講座（２）	8	10	水	講話	「さらなる言語活動の充実を目指してー人間教育学的視点からー」	大阪教育大学　教授	加賀田　哲也	22
家庭科教育研修講座	8	8	月	講話	「おいしさと健康を考えた新しい食品の開発」	園田学園女子大学　教授	渡辺　敏郎	14
特別活動研修講座	7	26	火	講話 (Zoom)	「いじめを防ぎ児童生徒一人一人に居場所のある人間関係を構築するために」	近畿大学工学部教育推進センター　教授	松岡　敬興	41
道徳教育研修講座	7	25	月	講話	「子どもたちの対話を大切にした道徳科授業の在り方(小学校編)」	四天王寺大学　教授	杉中　康平	31
	7	26	火	講話	「子どもたちの対話を大切にした道徳科授業の在り方(中学校編)」			14
ｱﾌﾟﾛｰﾁ･ｽﾀｰﾄｶﾘｷｭﾗﾑ研修講座	2	9	木	講話	「学びをつなぐ接続連携のあり方～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を活用して～」	大阪教育大学　地域連携・教育推進センター　准教授・副センター長	佐久間　敦史	21
幼児教育研修講座	7	26	火	講話 (Zoom)	「子どもの見方、指導の仕方」	関西国際大学　教授	中尾　繁樹	52
	8	9	火	講話 演習	「低学年・幼稚園でできる楽しい合奏と歌」	めぐみ幼稚園	松岡　要	36
	8	19	金	講話 演習	「豊かな表現を引き出す造形遊び ～描く遊びを中心として～」	びわこ学院大学　教授	中井　清津子	34
音楽科教育研修講座	8	9	火	講話	「『Chrome Music Lab』を楽しもう～STEAM教育の試み」	神戸女子大学　教授	小林　田鶴子	25
研究担当者研修講座	8	3	水	講話 (Zoom)	「得する研究授業のやり方、見方大公開！」	教師塾「あまから」代表	森川　正樹	59
教育総合センター研究発表会	3	3	金	講話 (Zoom)	発表1　エビデンスに基づく教育実践研究部会 発表2　ICT活用推進部会　先導的モデル校実証研究 発表3　探究的な学習研究部会 発表4　体力向上研究部会	学び支援課　調査・研究担当　係長 学び支援課　調査・研究担当　指導主事 学校ICT推進課　係長 学校ICT推進課　指導主事 学び支援課　研修担当　指導主事	日野　祐甫 水本　美穂 山下　崇 雨宮　久仁 林　玄典	67

３　研究部会

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
エビデンスに基づく教育実践研究部会	7	7	木	講話 (Zoom)	「エビデンスに基づく教育実践研究部会の概要と今後の予定」	学び支援課　調査・研究担当　係長 学び支援課　調査・研究担当 指導主事	日野　祐甫 水本　美穂	58
	7	25	月	演習	「Web分析システム『SYEN（シエン）』の見方・操作方法等」	学び支援課　調査・研究担当　係長 学び支援課　調査・研究担当 指導主事	日野　祐甫 水本　美穂	19
	12	5	月	講話 演習	「学力向上の成果を上げている学校の特徴と自校の取組」	早稲田大学教職大学院　教授 学び支援課　調査・研究担当　指導主事	田中　博之 水本　美穂	58
	2	16	木	講話 演習	「R4あまっ子ステップ・アップ調査から分かる尼崎市の様子・Web分析システム『SYEN（シエン）』の見方・分析方法等」 「R4あまっ子ステップ・アップ調査から考える今年度の振り返りと次年度」	株式会社ベネッセコーポレーション 学び支援課　調査・研究担当　指導主事	大塚　晋平 水本　美穂	41
	3	2	木					17
ICT活用推進部会	6	9	木	講話 (Meet)	講義:授業支援アプリ「先進事例の共有①（Google）」	Google for Education Japan　市場開発部 /顧客戦略部	長谷川　藍子 喰田　優綾	58
	6	30	木	講話 (Meet)	講義:授業支援アプリ「先進事例の共有②（ロイロノート）」	株式会社LoiLo	鍵本　優紀	64
	7	28	木	講話 演習	講義：先進校の取組「各校のこれまでの取組」	尼崎市立尼崎北小学校 教諭 尼崎市立園田東中学校 教諭 学校ICT推進課 係長	吉仲　伸隆 西前　孝嗣 山下　崇	61
	10	21	金	講話 演習	講義「ICTを効果的に活用した学習」	昭和女子大学 准教授	緩利　誠	53
	11 ～ 12			演習 (非同期)	ワーク：学校での取組の共有「学校の取組から学ぶ」 （Google Workspaceによるオンライン非同期型研修）	学校ICT推進課 係長	山下　崇	－
	2～3	9 16 2	木	演習 (Meet)	ワーク＆まとめ「ふりかえり」	学校ICT推進課 係長	山下　崇	58
探究的な学習研究部会	6	28	火	集合研修	「これからの社会で求められる資質・能力と 変数を取り入れた授業づくり」	徳島大学 准教授	福井　昌則	5
	11	28	月	公開授業	尼崎市立尼崎高等学校 第１学年 総合的な探究の時間　「課題解決学習 県立柏原高等学校とのオンライン交流」	学校ICT推進課 指導主事	雨宮　久仁	12
				公開授業	尼崎市立尼崎高等学校 第１学年 歴史総合「ファシズム」			
	12	12	月	公開授業	尼崎市立南武庫之荘中学校 第３学年 数学科 「トランプゲームを通して、確率を深める」			2
	1	19	木	公開授業	尼崎市立上坂部小学校 第６学年 理科「てこのはたらき」			2
	3	22	水	総括研修 (Zoom)	総括研修 「探究的な学習研究部会 部員が行った授業への総括と次年度への展望」	徳島大学 准教授	福井　昌則	4
体力向上研究部会	6	29	水	講話	「研究テーマの設定・今後の研究について」	学び支援課　研修担当　指導主事	林　玄典	10
	7	22	金	講話 演習	「バレーボールにおけるリズム指導」 「リズムジャンプ１学期の取組報告」 「主運動につながる準備運動の開発」 「２学期の取組について」	一般社団法人　スポーツリズムトレーニング協会　代表理事 学び支援課　研修担当　指導主事	津田　幸保 林　玄典	10
	12	15	木	講話 演習	「バスケットボールにおけるリズム指導」 「表現運動におけるリズム指導」 「主運動につながる準備運動の開発」	一般社団法人　スポーツリズムトレーニング協会　代表理事 学び支援課　研修担当　指導主事	津田　幸保 林　玄典	10
	1	30	月	講話 演習	「幼児が楽しく取り組めるリズムジャンプ指導について」 「主運動につながる準備運動の開発」 「研究報告書について」	一般社団法人　スポーツリズムトレーニング協会　代表理事 学び支援課　研修担当　指導主事	津田　幸保 林　玄典	10

９　令和４年度　研究部会の概要報告

１　エビデンスに基づく教育実践研究部会

「学力調査結果の分析・活用
－　各学校における授業改善や学力向上の取組の充実を目指して　－」

学び支援課　調査・研究担当　係　　長　　日野　祐甫
学び支援課　調査・研究担当　指導主事　　水本　美穂

【内容の要約】

本部会は、市内の全小学校４１校・中学校１７校から推薦された教員が、平成３０年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果の分析を中心に、自校の学力を向上させるための取組を検証し、改善させる方法を見出すことを目的とする。

具体的には、年度の初めに「あまっ子ステップ・アップ調査」等の趣旨や分析結果から自校の課題をもとにして取組を計画し【Ｐ】、１年間、自校の取組を実践【Ｄ】、１２月と１月に今年度の調査を受検【Ｃ】、研究者の知見や他校の実践紹介を参考に、今年度の調査結果を踏まえて１年間の取組を振り返り次年度への改善につなげる【Ａ】といった連続研修を行う。このように年間を通して効果的な検証改善サイクルを確立するための実践的な研究の場を提供することで、各学校での学力向上に向けた取組の改善を図る。

２　ICT 活用推進部会

【尼崎市番 GIGA スクール構想（AGS)】実現に向けての取組
－　尼崎市全教職員のさらなる ICT 活用指導力向上を目指して　－

学校 ICT 推進課　係長　　山下　崇

【内容の要約】

本部会は、【尼崎市版 GIGA スクール構想（AGS)】の実現に向けて、児童生徒１人１台の PC を活用した先導的な事例を学んだり市内の学校間で取組を共有したりすることで、多くの教員が効果的に ICT を活用し、「指導の個別化」や「学習の個性化」の授業スキルを身につけられるように推進していくことを目的とする。部会の進め方については、昨年度と同様に、担当者を１名決めて参加するのではなく、各校における「ICT 活用推進チーム」のメンバーの一員が、その都度、任意に出席する形式とし、学校単位で取り組むものとした。

具体的には、年間６回実施した部会のうち、大学や企業の専門家から先進的な理論や実践についての講義を受けるほか、特定の研修日を設けず、各校の取組を共有するワークショップなども部会の中に盛り込み、その成果を閲覧できるホームページを立ち上げるなど、尼崎市全教職員のさらなる ICT 活用指導力向上を図る。

３　探究的な学習研究部会

「多面的・多角的な視点で物事を考える場面づくりとこれからの社会を見据えた資質能力の育成」

学校ICT推進課　指導主事　雨宮　久仁

研究員	春名　祥吾	（上坂部小）	塚本　洋一	（南武庫之荘中）
〃	鴈　和樹	（尼崎高校）	久保田　諭	（尼崎高校）
〃	尾之内　潤	（尼崎高校）		

【内容の要約】

「Society5.0」や「VUCA」といった言葉に代表されるように、想像もできないような将来が待ち構えていると予測されている。そのような社会を生き抜くために学習指導要領前文には、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と記載されている。

本研究部会では、そのような児童生徒を育成していくために、授業内に「変数」を取り入れ、児童・生徒の思考にゆだねる時間を意図的に作ることで「多様な人々と協働しながら課題を乗り越える」資質・能力の向上をめざす。

また、今年度は多様な人々と触れ合う機会を作る事を目的として、地区や学年・学校を越えた活動を取り入れる。

４　体力向上研究部会

「ホップ！スマイル！！リズムジャンプ！！！
―　幼児　児童　生徒の体力づくりおよび体力向上を目指したリズムジャンプの活動実践―」

学び支援課　研修担当　指導主事　　林　玄典

研究員	濱本　由里絵	（園田幼）	広瀬　和佳菜	（武庫幼）
〃	長井　裕志	（浜田小）	林　忠明	（名和小）
〃	芝　朋来	（園田小）	浜﨑　伸之	（園田北小）
〃	樫藤　将太	（大庄北中）	米田　正樹	（常陽中）
〃	井田　幸佑	（園田中）	都﨑　綾香	（大成中）

【内容の要約】

本市の子どもの新体力テストの結果は、全国・県平均と比較すると低い水準にある。本部会では、楽しく運動しながら体力向上に繋がるプログラムづくりについての研究を行う。また同時に、授業でウォーミングアップ時に取り組み、主運動に繋がる動作の獲得が容易になる運動プログラムを研究する。さらに、幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上をめざす。

１０　令和４年度　学びの先進研究サポート事業
自主研究グループ一覧

NO	グループ名および研究の概要	所属校	代表者名
1	**尼崎インクルーシブ教育研究会** 園生活における困難を改善する援助に関する研究	武庫幼稚園	前田　有香
2	**体育研究会「にじ」尼崎** キャッチバレーボールにおける価値観及び社会的態度の変容に関する研究	園田小学校	中家　良太
3	**わくわく研究会** 児童詩に関する研究	小園小学校	宇都　亨
4	**算数研究会** ICTを利用した独自学習と対話を子供の「おたずね」を軸にした相互学習に関する研究	名和小学校	花岡　祐介
5	**サークル朴（ほお）** 学級経営力・授業力に関する研究	武庫北小学校	大塚　直哉
6	**尼崎市協調学習研究会** ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを促す授業改善に関する研究	小園中学校	笹脇　正勝
7	**道徳研究会** 子どもの「おたずね」を軸にした道徳科授業の実践に関する研究	潮小学校	由良　健一
8	**尼崎の包括的性教育を考える会** 包括的性教育に関する小中連携の視点を踏まえたモデル授業案作成に関する研究	大庄中学校	庄司　るみ子
9	**国語の授業を考える会** 国語科における主体的で対話的で深い学びの授業実践に関する研究	清和小学校	山下　賢
10	**サークルS・C・S** 国語科・道徳科の授業づくりに関する研究	水堂小学校	長山　慶介

１１　令和４年度　教科書センター事業報告

１ 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校　　昭和 40 年以降の教科書 中学校　　昭和 37 年以降の教科書 高等学校　　昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第９条に基づく一般図書
２ 法定展示	開館時間	令和４年６月 10 日 ～ 令和４年６月 29 日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	令和２年度～令和５年度使用小学校用教科書 令和３年度～令和６年度使用中学校用教科書 令和５年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第９条に基づく一般図書

１２　令和４年度　教育情報の収集・整理事業報告

１ 各種教育資料の収集（保有数）R5.1.31 現在

- 教育関係図書　12,154 冊
- 教育関係資料（研究紀要・報告書）　98 冊
- 雑誌収集　12 タイトル

２ 教育広報活動

- 「教育総合センターだより」　№. 164 ～ №. 167
  （令和４年５月、９月、12 月、令和５年３月の年４回発行）
- 「教育あまがさき」　第 90 号 ～ 第 91 号
  （令和４年 10 月、令和５年３月の年２回発行）

３ 各種刊行物の発行

- 教育研究報告書　紀要 60 号

（様式３）

第　　号
令和　　年　　月　　日

尼崎市立教育総合センター
学び支援課長 様

校・園名　　尼崎市立
校・園長名

欠　席　届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

１　研修・研修講座名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　研修実施日　　令和　　年　　月　　日（　　）

３　対象者名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４　欠席理由　　※校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

以　上